

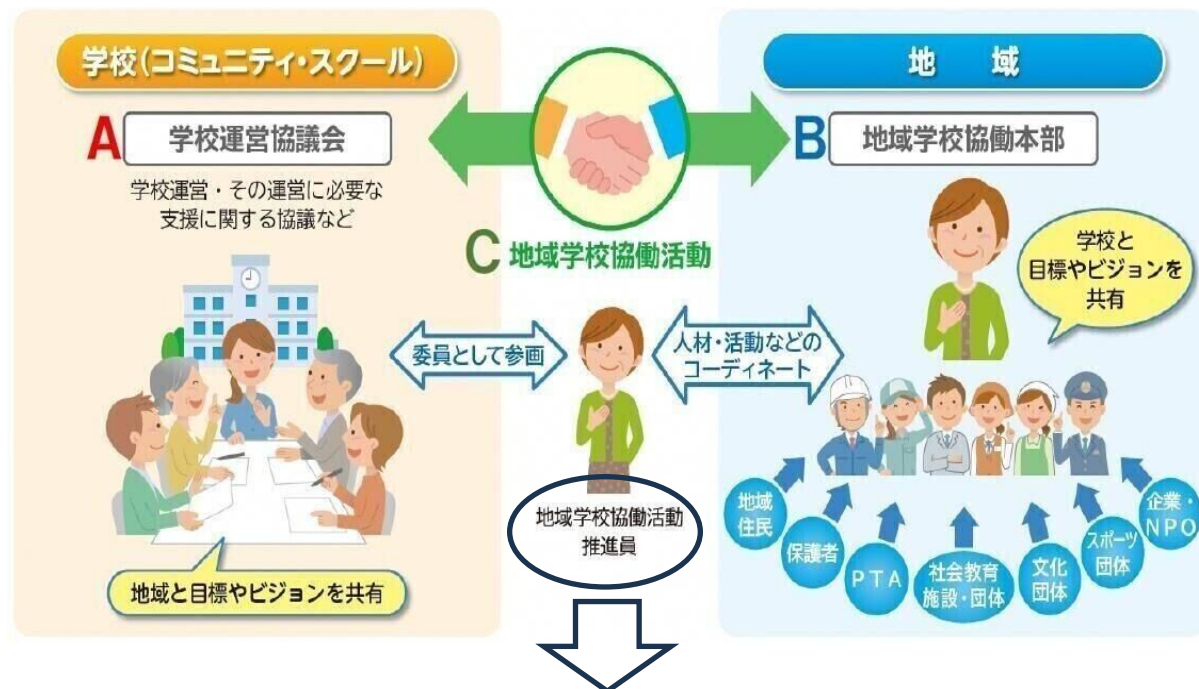
学校・家庭・地域が協働！

地域とともにある
学校づくり

地域学校協働活動



「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、連携・協働して行う様々な活動のことです。

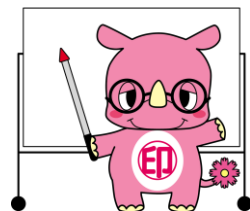


地域学校協働活動推進員



地域全体でこどもたちの成長を支えるために、各学校区の地域学校協働活動推進員が、「学校のやりたい！」と「地域の関わりたい！」をつなげ、叶えていきます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域学校協働活動が一体的に進めば、次のような効果が期待されます。

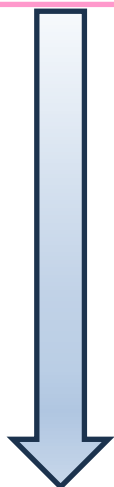


学校が教育課程を開けば

- 学校教育目標を共有できる
- 教育課題を解決できる
- 教育活動が充実できる
- 教職員の負担を軽減できる

地域が学校に目を向ければ

- 学校と目標を共有できる
- 学校の課題が見える
- 協働することが見える
- 地域の活性化が図れる



学習指導要領に示される「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校と地域が連携・協働することで、こどもたちに未来の担い手となるために必要な資質・能力を育むことができます！

地域学校協働活動推進員は、こんな活動をします

企画・立案

学校運営協議会委員として学校運営に参画。地域や学校の実情に応じた協働活動の企画・立案

連絡・調整

学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整

見つける

地域ボランティアの募集・確保

「学校のやりたい！」を **叶える** 地域の「かかわりたい！」を **つなげる**

【コーディネート】に携わる「地域学校協働活動」の例

- ・学校への協力活動（登下校の見守り・学校の環境整備・授業補助等）
- ・郷土学習、キャリア教育（総合的な学習の時間、職場体験学習等）
- ・地域行事、ボランティア活動（伝統文化体験・防災訓練への参画等）

「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法に基づいて教育委員会から委嘱された、いわゆる「地域コーディネーター」のことです。地域と学校で協力して行う「地域学校協働活動」の企画・運営、関係者への連絡・調整、地域の皆さんへの呼びかけなど、地域と学校のつなぎ役として、こどもたちの成長を支える様々な活動を進める役割を担っています。